

総合臨床腫瘍医育成コース

【必修】 16 単位

総合基礎総論：

腫瘍分子生物学 (1)

腫瘍病理学 (1)

総合臨床腫瘍医育成コース：

臨床腫瘍総論 (1)

腫瘍内科学 (7)

腫瘍放射線医学 (1)

腫瘍外科学 (2)

緩和医療学 (2)

医学コミュニケーション (1)

総合臨床腫瘍医育成コース

種別：総合基礎

科目名：腫瘍分子生物学

科目担当責任者（所属・職・氏名）：東京医科大学病院臨床腫瘍科 教授 吉村 明修
東京医科大学病院臨床腫瘍科 兼任講師 横山 智央

科目担当教員（所属・職・氏名）：東京医科大学病院臨床腫瘍科 兼任講師 横山 智央

1. 授業の目標・概要

(1) 授業の目標

がんの発症に関する全般的な基礎知識を習得し、臨床技術の基盤を構築する。さらに、がんの診断、検査、治療などの方法の基礎と応用について、実戦的な理解を深め、先端知識を習得する。

(2) 授業の概要

発がんの過程を知り、遺伝子の構造、構成、発現、制御を理解する。さらに、がん細胞の増殖・プログラム細胞死を理解し、研究に必要な基礎的(生化学, 分子生物学)な研究手法と、臨床研究立案および実施における研究手法を学ぶ。

2. 授業計画

回		内容	担当者	場所
1	講義	腫瘍分子生物学1	横山 智央	e-learning
2	講義	腫瘍分子生物学2	横山 智央	e-learning
3	実習	細胞内シグナル伝達とがん化	横山 智央	日程・場所は後日設定
4	実習	腫瘍免疫	横山 智央	日程・場所は後日設定
5	実習	分子生物学の臨床応用1	横山 智央	日程・場所は後日設定
6	実習	分子生物学の臨床応用2	横山 智央	日程・場所は後日設定
7	実習	実習	横山 智央	日程・場所は後日設定
8	実習	実習	横山 智央	日程・場所は後日設定

3. 授業に際し学生の留意点

(1) 授業への準備・予習

特にはないが、細胞について基礎的なことは理解しておくこと。

(2) 他の授業科目との関連性

がんの腫瘍病理学概論と関連する。

4. 学生への評価方法

授業科目に関する知識を集中的に学ぶため、すべての講義に出席することを基本とする。

成績の評価及び単位の認定にあたっては、小テスト、レポートを評価する。

5. 教科書・参考書など

ペコリーノ がんの分子生物学 メカニズム・分子標的・治療 (監訳 日合弘・木南凌) (株)メデイカル・サイエンス・インターナショナル

がんのベーシックサイエンス 4thEdition (監訳 谷口直之・大島明・鈴木敬一郎) (株)メデイカル・サイエンス・インターナショナル

総合臨床腫瘍医育成コース

種別：総合基礎

科目名：腫瘍病理学

科目担当責任者（所属・職・氏名）：東京医科大学大学院形態系専攻/社会人大学院・研究系専攻
分子病理学 主任教授 黒田 雅彦

科目担当教員（所属・職・氏名）：東京医科大学大学院形態系専攻/社会人大学院・研究系専攻
分子病理学 主任教授 黒田 雅彦
准教授 倉田 厚
講師 高梨 正勝
助教 大野 慎一郎

1. 授業の目標・概要

(1) 授業の目標

腫瘍の発生原因となる、分子異常と病理学を対比することで、腫瘍発生の全体像を理解する。癌幹細胞の存在やこれまでに解明されていない腫瘍の多様性に関して、新たな知見を見だし、治療応用ができる医師の育成を目指す。

(2) 授業の概要

どのようにして腫瘍を攻撃するか、新たな戦略を立案できるような能力を見つけることを目標とする。

2. 授業計画

回		内容	担当者	場所
1	講義	がんの病因	黒田 雅彦	e-learning
2	講義	がんの病理診断	倉田 厚	e-learning
3	講義	がんの増殖・浸潤・転移	高梨 正勝	e-learning
4	講義	がんのバイオマーカーと病理診断	倉田 厚	e-learning
5	講義	トランスレーショナル研究	高梨 正勝	e-learning
6	実習	実習	大野慎一郎	日程・場所は後日設定
7	実習	実習	大野慎一郎	日程・場所は後日設定
8	実習	実習	大野慎一郎	日程・場所は後日設定

3. 授業に際し学生の留意点

(1) 授業への準備・予習

特にはないが、がん細胞について基礎的なことは理解しておくこと。

(2) 他の授業科目との関連性

腫瘍分子生物学と関連する。

4. 学生への評価方法

授業科目に関する知識を集中的に学ぶため、すべての講義に出席することを基本とする。成績の評価及び単位の認定にあたっては、小テスト、レポートを評価する。

5. 教科書・参考書など

1. The biology of CANCER second edition, Robert A. Weinberg

総合臨床腫瘍医育成コース

種別：総合臨床腫瘍医育成コース

科目名：臨床腫瘍総論

科目担当責任者（所属・職・氏名）： 東京医科大学病院臨床腫瘍科 教授 吉村 明修

科目担当教員（所属・職・氏名）： 東京医科大学社会医学系専攻/社会人大学院・研究系専攻
公衆衛生学 主任教授 井上 茂
東京医科大学生命倫理学教室 兼任教授 黒須 三恵
東京医科大学病院臨床腫瘍科 教授 吉村 明修
東京医科大学病院薬剤部 主査 宮松 洋信
(がん指導薬剤師、がん専門薬剤師)
東京医科大学病院看護部 師長 川島美由紀
(がん看護専門看護師)

1. 授業の目標・概要

(1) 授業の目標

- ・腫瘍内科医として必要ながん医療に関する基本的知識を理解できる。
- ・がん医療に関するわが国の医療政策を理解することにより、がん医療における臨床腫瘍医の位置付けを知ることができる。臨床研究のデザイン、医療統計学および医療倫理を理解することにより、すべての分野の臨床試験を評価することができる。

(2) 授業の概要

がん医療および臨床研究に関する基本的知識については講義および実習（8回）を行う。

2. 授業計画

回		内容	担当者	場所
1	講義	がん対策基本法・がん診療連携拠点病院	吉村 明修	e-learning
2	実習	がん診療連携拠点病院（実習）	吉村 明修	日程・場所は後日設定
3	講義	がんの予防とがん検診	吉村 明修	e-learning
4	講義	臨床研究と医療倫理 1	黒須 三恵	e-learning
5	講義	臨床研究と医療倫理 2	黒須 三恵	e-learning
6	講義	臨床研究と医療統計学	井上 茂	e-learning
7	講義	がんの統計	井上 茂	e-learning
8	講義	がん診療とチーム医療	宮松・川島	e-learning

3. 授業に際し学生の留意点

(1) 授業への準備・予習 特になし。

(2) 他の授業科目との関連性

がん医療に関するわが国の医療政策を理解することにより、がん医療における臨床腫瘍医の位置付けを知ることができる。また、すべての分野の臨床試験を評価することができる。

4. 学生への評価方法

講義の履修状況、講義後に実施するミニ・テスト、講義に対する質問状況、実習

5. 教科書・参考書など

新臨床腫瘍学（改定第2版）—がん薬物療法専門医のために—。NPO 法人日本臨床腫瘍学会編集、南江堂。

総合臨床腫瘍医育成コース

種別：総合臨床腫瘍医育成コース

科目名：腫瘍内科学

科目担当責任者（所属・職・氏名）：東京医科大学病院臨床腫瘍科 教授 吉村 明修

科目担当教員（所属・職・氏名）：東京医科大学病院臨床腫瘍科 教授 吉村 明修
 東京薬科大学薬学研究科臨床薬理学教室 教授 平野 俊彦
 東京医科大学病院薬剤部 主査 宮松 洋信
 （がん指導薬剤師、がん専門薬剤師）
 東京医科大学大学院外科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
 耳鼻咽喉科学 臨床准教授 清水 顕
 東京医科大学大学院外科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
 呼吸器・甲状腺外科学分野 臨床講師 長瀬 清亮
 東京医科大学大学院内科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
 消化器内科学分野 講師 祖父尼 淳
 東京医科大学大学院内科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
 消化器内科学分野 助教 草野 央※
 東京医科大学大学院外科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
 産婦人科学 講師 西 洋孝
 東京医科大学病院乳腺科 准教授 山田 公人
 東京医科大学大学院内科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
 皮膚科学 助教 入澤 亮吉
 東京医科大学大学院外科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
 呼吸器・甲状腺外科学分野 教授 筒井 英光
 東京医科大学大学院外科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
 脳神経外科学 教授 秋元 治朗
 東京医科大学大学院内科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
 血液内科学分野 教授 伊藤 良和
 准教授 田内 哲三
 東京医科大学大学院内科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
 講師 杉本 勝俊
 東京医科大学病院泌尿器科 准教授 堀口 裕※

※2015年度に東京医科大学を退職

1. 授業の目標・概要

(1) 授業の目標

・腫瘍内科医として必要ながん治療における薬物療法の基本的知識（画像診断と効果判定、病期診断、悪性疾患の管理、薬物療法の基本原則）を理解できる。

・主要な悪性疾患の疫学、危険因子、スクリーニング、確定診断、病期分類、予後因子、治療方針、がん薬物療法、進行期の支持的・緩和的処置等を理解し、実際の診療を行うことができる

(2) 授業の概要

がん治療における薬物療法の基本的知識、主要な悪性疾患については講義（25回）を行う。日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医の申請条件を充足できるものとするため、胸部腫瘍（肺がん）、消化器がん（胃がん、結腸・直腸がん、肝細胞がん）、乳がん、造血器腫瘍については、当該診療科に配属され実際に担当医として診療を行う。

2. 授業計画

回		内容	担当者	場所
1	講義	がん治療における薬物療法 －治療の目的と適応	吉村 明修	e-learning

総合臨床腫瘍医育成コース

2	講義	薬物療法の基礎	平野 俊彦	e-learning
3	講義	がん化学療法の臨床薬理学	平野 俊彦	e-learning
4	講義	薬物療法の個別化	平野 俊彦	e-learning
5	講義	抗がん薬による有害事象と支持療法 1	吉村 明修	e-learning
6	講義	抗がん薬による有害事象と支持療法 2	宮松 洋信	e-learning
7	講義	生物学的療法（モノクローナル抗体、腫瘍ワクチンなど）	吉村 明修	e-learning
8	講義	がんの合併症と対策 1	吉村 明修	e-learning
9	講義	がんの合併症と対策 2	吉村 明修	e-learning
10	講義	悪性疾患の管理・治療（頭頸部がん）	清水 顕	e-learning
11	講義	悪性疾患の管理・治療（胸部腫瘍 1）	長瀬 清亮	e-learning
12	講義	悪性疾患の管理・治療（胸部腫瘍 1）	長瀬 清亮	e-learning
13	講義	悪性疾患の管理・治療（消化器がん 1）	草野 央	e-learning
14	講義	悪性疾患の管理・治療（肝臓がん）	杉本 勝俊	e-learning
15	講義	悪性疾患の管理・治療（胆膵がん）	祖父尼 淳	e-learning
16	講義	悪性疾患の管理・治療（泌尿生殖器がん）	堀口 裕	e-learning
17	講義	悪性疾患の管理・治療（女性生殖器がん）	西 洋孝	e-learning
18	講義	悪性疾患の管理・治療（乳がん 1）	山田 公人	e-learning
19	講義	悪性疾患の管理・治療（乳がん 2）	山田 公人	e-learning
20	講義	悪性疾患の管理・治療（皮膚がん）	入澤 亮吉	e-learning
21	講義	悪性疾患の管理・治療（内分泌がん）	筒井 英光	e-learning
22	講義	悪性疾患の管理・治療（中枢神経系腫瘍）	秋元 治朗	e-learning
23	講義	悪性疾患の管理・治療（原発不明がん）	吉村 明修	e-learning
24	講義	悪性疾患の管理・治療（造血器腫瘍 1）	伊藤 良和	e-learning
25	講義	悪性疾患の管理・治療（造血器腫瘍 2）	田内 哲三	後日収録

* 残り 31 回は実習とする。詳細は、後日調整する。

3. 授業に際し学生の留意点

(1) 授業への準備・予習

講義については、講義時間が限られているため、当該講義担当教員の指示により、講義の準備・予習を行うこと。主要な悪性疾患の疫学、危険因子、スクリーニング、確定診断、病期分類、予後因子等は予習して授業に臨むことが望ましい。

(2) 他の授業科目との関連性

全ての他の授業科目と密接な関連性を有する。常に他の分野との関連を考慮し総合的に疾患を理解するように努めること。

(3) その他

胸部腫瘍（肺がん）、消化器がん（胃がん、結腸・直腸がん、肝細胞がん）、乳がん、造血器腫瘍については、実際に担当医として診療を行うこと。日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医を取得するために必須の要件となる。

総合臨床腫瘍医育成コース

4. 学生への評価方法

講義の履修状況、講義後に実施するミニ・テスト、講義に対する質問状況、実習

5. 教科書・参考書など

新臨床腫瘍学（改定第2版）—がん薬物療法専門医のために—。NPO 法人日本臨床腫瘍学会編集。南江堂。

Cancer Principles & Practice of Oncology (9th edition), Wolters Kluwer / Lippincott Williams & Wilkins.

総合臨床腫瘍医育成コース

種別：総合臨床腫瘍医コース

科目名：腫瘍放射線医学

科目担当責任者（所属・職・氏名）：東京医科大学大学院内科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
放射線医学 主任教授 徳植 公一

科目担当教員（所属・職・氏名）：東京医科大学大学院内科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
放射線医学 主任教授 徳植 公一
東京医科大学大学病院放射線科 准教授 中山 秀次※
東京医科大学大学病院放射線科 講師 三上 隆二
※2015年度に東京医科大学を退職

1. 授業の目標・概要

(1) 授業の目標

放射線腫瘍医として必要ながん医療に関する基本的な知識を習得する。

(2) 授業の概要

がん医療に関する基本的知識については講義および実習（8回）を行う。

2. 授業計画

回		内容	担当者	場所
1	講義	放射線療法の物理学的・生物学的基礎	徳植 公一	e-learning
2	講義	腫瘍学における放射線療法 総論	徳植 公一	e-learning
3	講義	腫瘍学における放射線療法 各論 (乳がん、前立腺がん)	中山 秀次	e-learning
4	講義	腫瘍学における放射線療法 各論 (胸部)	徳植 公一	e-learning
5	講義	腫瘍学における放射線療法 各論 (子宮頸がん)	三上 隆二	e-learning
6	講義	高精度放射線療法	徳植 公一	e-learning
7	実習	画像診断と病期診断	徳植 公一	日程・場所は後日設定
8	実習	放射線療法の効果判定と有害事象	徳植 公一	日程・場所は後日設定

3. 授業に際し学生の留意点

(1) 授業への準備・予習

特になし。

(2) 他の授業科目との関連性

がん治療の3本柱である放射線療法を学ぶことによりがん治療全体の枠組みを理解・評価することができる。

(3) その他

特になし。

4. 学生への評価方法

講義の履修状況、講義後に実施するミニ・テスト、講義に対する質問状況

5. 教科書・参考書など

放射線治療ポケットマニュアル 産業開発機構株式会社 映像情報メディカル編集部

総合臨床腫瘍医育成コース

種別：総合臨床腫瘍医育成コース

科目名：腫瘍外科学

科目担当責任者（所属・職・氏名）：東京医科大学大学院外科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
呼吸器・甲状腺外科学分野 主任教授 池田 徳彦

科目担当教員（所属・職・氏名）：東京医科大学大学院外科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
呼吸器・甲状腺外科学分野 主任教授 池田 徳彦
東京医科大学大学院外科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
呼吸器・甲状腺外科学分野 教授 梶原 直央
東京医科大学大学院外科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
消化器・小児外科学分野 講師 星野 澄人
東京医科大学大学院外科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
消化器・小児外科学分野 教授 勝又 健次
東京医科大学大学院外科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
消化器・小児外科学分野 准教授 粕谷 和彦
東京医科大学病院乳腺科 准教授 山田 公人

1. 授業の目標・概要

(1) 授業の目標

腫瘍に対する手術療法を中心に、治療の概念、標準治療法を理解する。それを通して低侵襲治療の適応、メリット・デメリットなどを展望する。

(2) 授業の概要

講義 8 時限と実習 8 時限を行う。講義は、総論と代表的な腫瘍の外科治療に関する各論から構成される。

2. 授業計画

回		内容	担当者	場所
1	講義	腫瘍外科学概論 1	池田 徳彦	e-learning
2	講義	腫瘍外科学概論 2	池田 徳彦	e-learning
3	講義	外科治療 1（肺がん）	梶原 直央	e-learning
4	講義	外科治療 2（胃がん）	星野 澄人	e-learning
5	講義	外科治療 3（結腸・直腸がん）	勝又 健次	e-learning
6	講義	外科治療 4（肝・胆・膵）	粕谷 和彦	e-learning
7	講義	外科治療 5（乳癌）	山田 公人	e-learning
8	講義	次世代型がん低侵襲治療 1	梶原 直央	e-learning
9	講義	次世代型がん低侵襲治療 2	梶原 直央	e-learning

* 残り 7 回は実習とする。詳細は、後日調整する。

3. 授業に際し学生の留意点

(1) 授業への準備・予習

特になし。

(2) 他の授業科目との関連性

総合臨床腫瘍医育成コース

次世代型がん低侵襲治療専門医育成コースとしてロボット工学さらにレーザー医学、内視鏡外科学、腫瘍放射線医学などと併せて診療技術を習熟することで、次世代型がん低侵襲治療としての知識・技術を備えたがん専門医を目指す事が可能となる。

(3) その他

特になし。

4. 学生への評価方法

試験（口頭試問ないしはレポート提出）によって評価する。

5. 教科書・参考書など

特になし。

総合臨床腫瘍医育成コース

種別：総合臨床腫瘍医育成コース

科目名：緩和医療学

科目担当責任者（所属・職・氏名）：東京医科大学大学院外科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
麻酔科学・緩和医療部 臨床教授 田上 正

科目担当教員（所属・職・氏名）：東京医科大学大学院外科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
麻酔科学・緩和医療部 臨床教授 田上 正
(緩和医療学会暫定指導医)

東京医科大学大学院内科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
精神医学 助教 村越 晶子
(緩和医療学会暫定指導医)

東京医科大学病院乳腺科 准教授 山田 公人
(日本がん治療学会認定医)

東京医科大学病院看護部 武石 葉月
(緩和ケア認定看護師)

東京医科大学病院薬剤部 主査 東 加奈子
(がん指導薬剤師、がん専門薬剤師)

東京医科大学病院薬剤部 宮里 明芽

東京医科大学病院医療福祉相談担当 MSW 品田 雄市

1. 授業の目標・概要

(1) 授業の目標

- ① がん対策基本法とがん対策推進基本計画の内容を理解し、総合臨床腫瘍医として必要な緩和医療・ケアにおける基本を習得する。
- ② がん診療連携拠点病院、緩和ケア病棟・ホスピス、在宅医療の現状を理解し、切れ目のないがん患者医療・ケアの重要性を理解する。
- ③ 緩和医療・ケア外来や入院患者回診を通して、がん患者の診療における基本姿勢・態度を習得する。
- ④ がんサバイバーが抱える問題点を理解し説明できる。

(2) 授業の概要

- ① がん対策基本法とがん対策推進基本計画が公布、施行された背景を概説する。
- ② がん患者の身体症状を評価し、特に痛み、呼吸困難、消化器症状などについての症状の評価と治療計画作成について解説する。
- ② がん患者の精神的症状を評価し、特に不眠、せん妄について症状の評価と治療計画の作成について解説する。
- ③ PEACE 研修会に参加し Bad News の伝え方や処方薬剤の説明の仕方をロールプレイを通して学ぶ。実際に PEACE 研修会に参加し企画運営を行う。
- ④ 緩和ケアチームのカンファレンス、地域で行われているがん患者の症状緩和に関する学習会、リハビリに関する学習会、地域医療連携に関する学習会に参加し、最前線の取り組みを知り理解を深める。
- ⑤ がんサバイバーの本邦における現状について、資料を収集して発表できるようにする。

総合臨床腫瘍医育成コース

2. 授業計画

回		内容	担当者	場所
1	講義	緩和医療学概論	田上 正	セミナー室
2	講義	がんの痛みの評価と治療	田上・東	セミナー室
3	講義	身体症状評価と対処法 1	田上 正	セミナー室
4	講義	身体症状評価と対処法 2	田上・山田	セミナー室
5	講義	緩和ケアにおけるチーム医療	田上	セミナー室
6	講義	リハビリテーション	田上	セミナー室
7	講義	がん患者の精神症状等の評価と対処	村越・田上	セミナー室
8	講義	がん患者への援助的コミュニケーション	村越	セミナー室
9	講義	がん患者のセルフケア	武石	セミナー室
10	講義	がん患者の終末期ケア	武石	セミナー室
11	講義	臨死期への対応	田上 正	セミナー室
12	実習	PEACE 研修会参加	田上・PCT	東京医大
13	実習	PEACE 研修会参加	田上・PCT	東京医大
14	実習	実習：地域の学習会への参加	田上・PCT	地域の学習会
15	実習	実習：地域の学習会の企画運営に参加	田上・PCT	地域の学習会
16	実習	実習：緩和ケア外来・回診	田上・PCT	外来・病棟

3. 授業に際し学生の留意点

(1) 授業への準備・予習

予め提示された内容について、自学自習を行う。

(2) 他の授業科目との関連性

がん患者への IC やコミュニケーションは PEACE 研修会のロールプレイで実際に行うことができる。

がんの身体的症状には、がん治療が原因で生じる痛みや治療による副作用などがあるので、評価や対策をまとめて整理することができる。

(3) その他

明日からの臨床に活かせる知識やスキルが身に付くことを目標とする。

東京医大病院は区西部緩和ケア推進運営事業会議における研修担当責任病院です。

4. 学生への評価方法

出席状況、授業時の態度や討論の内容、レポートで理解の程度の確認

実習への参加状況や実習態度およびレポート

5. 教科書・参考書など

がん対策基本法とがん対策推進基本計画は、必ず目を通して説明できるようになることが望ましい。

'Oxford Textbook of Palliative Medicine': Geoffrey Hanks, et al 2010

総合臨床腫瘍医育成コース

系統緩和医療学講座 身体症状のマネジメント 恒藤 暁 最新医学社 2013

がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2010年度版 特定非営利法人日本緩和医療学会編

苦痛緩和のための鎮静に関するガイドライン 2011年度版 特定非営利法人日本緩和医療学会編

がん患者の消化器症状の緩和に関するガイドライン 2011年度版特定非営利法人日本緩和医療学会編

がん患者の呼吸器症状の緩和に関するガイドライン 2011年度版特定非営利法人日本緩和医療学会編

終末期がん患者の輸液療法に関するガイドライン 2011年度版特定非営利法人日本緩和医療学会編

総合臨床腫瘍医育成コース

種別：総合臨床腫瘍医育成コース

科目名：医学コミュニケーション

科目担当責任者（所属・職・氏名）：東京医科大学病院臨床腫瘍科 教授 吉村 明修

科目担当教員（所属・職・氏名）：東京医科大学病院臨床腫瘍科 教授 吉村 明修
 東京医科大学大学院内科系専攻/社会人大学院・臨床研究系専攻
 精神医学 助教 村越 晶子
 日本医科大学医学教育センター 助教 井上千鹿子

1. 授業の目標・概要

(1) 授業の目標

がん患者とのコミュニケーションの重要性を理解し、悪い知らせを伝えるコミュニケーションができる。インフォームド・コンセントの法的概念と倫理的側面を理解できる。
 がん患者の心の反応を理解するとともに、それへの対応ができる。

(2) 授業の概要

講義 4 時限と実習 4 時限を行う。ロールプレイを主体としたコミュニケーション実習を行う。

2. 授業計画

回		内容	担当者	場所
1	講義	インフォームド・コンセント	吉村 明修	e-learning
2	講義	がんの精神社会学	村越 晶子	e-learning
3	講義	コミュニケーションの基礎	吉村 明修	e-learning
4	講義	がん患者とコミュニケーション	吉村 明修	e-learning
5	実習	実習	吉村 明修	日程・場所は後日設定
			井上千鹿子	
6	実習	実習	吉村 明修	日程・場所は後日設定
			井上千鹿子	
7	実習	実習	吉村 明修	日程・場所は後日設定
			井上千鹿子	
8	実習	実習	吉村 明修	日程・場所は後日設定
			井上千鹿子	

3. 授業に際し学生の留意点

(1) 授業への準備・予習

特になし。

(2) 他の授業科目との関連性

緩和医療学：がん患者の精神症状等の評価と対処との関連性あり。

総合臨床腫瘍医育成コース

(3) その他

4. 学生への評価方法

講義の履修状況、講義後に実施するミニ・テスト、講義に対する質問状況、実習

5. 教科書・参考書など

がん医療におけるコミュニケーションスキル 悪い知らせをどう伝えるか. 医学書院.